

1	指定管理者名	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ
2	指定期間	平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 33年 3 月 31 日
3	業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関すること。 2 児童館の維持管理に関すること。 3 目的外使用許可にかかる事務に関すること。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関すること。 5 事業評価に関すること。

4. 採点表		評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況 (10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	10	平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満～95%:8点、 95%未満～85%:6点、 85%未満:4～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値		開館時間中(10:00～18:00)、自由来館となっている。	-		
			②利用人数			平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	85%未満 2～0点	・母親の仕事復帰が確実に増えており、乳幼児の日々の来館やクラブ参加が減少している。祖父母に連れてこられる子が増えており、祖父母向けの参加を意識した取り組みを実施している。 ・来館の多かった学年が、進級と共に授業時間が増え、また塾や習い事もあり来館が難しくなった。特に毎日のように来館していた学年が中学生となり、来館者の減少につながった。 【平成29年度】来館者数 13,876人 乳幼児:2,222人 小学生:6,894人 中高生:302人 大人:4,458人 【平成28年度】来館者数 17,745人 乳幼児:3,411人 小学生:8,054人 中高生:342人 大人:5,938人 ※来館者数と事業参加者は異なる数え方をしています。	4点		
			平均値比(上記(3)適用) ※今回は指定管理2年目の評価のため、上記(2)を適用する 78%÷利用人数(延べ人数 13,876人)÷17,745人								
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況 (仕様書内)(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15～12点 例年通り:11～9点、 例年よりやや劣る:8～7点、 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計48回開催、延べ784名参加) ・児童を対象にした事業(計55回開催、延べ596名参加) ・地域交流事業、多世代間交流事業(計1回開催、延べ67名参加) ・中高生事業(計3回開催、延べ10名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計14回開催、延べ29名参加) ※別紙:事業評価表 参照	仕様書以上 12点	・仕様書の事業をすべて目標回数以上行い、適正に実施した。 ・地域と連携を図り、事業を行っている。 ・児童を対象とした事業では、児童の意見を取り入れ事業を実施した。	12点			
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	仕様書以上:15～12点、 仕様書に忠実:11～9点、 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、 それ以下:2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計35回開催、延べ217名参加) ・児童を対象にした事業(計64回開催、延べ528名参加) ・地域交流事業、多世代間交流事業(計72回開催、延べ933名参加) ・中高生事業(計13回開催、延べ47名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計9回開催、延べ69名参加) ※別紙:事業評価表 参照	期待以上 13点	・地域の特性を活かした事業を適正に実施した。 ・地域と連携し、たけのこ掘り・お茶摘みなど、他館ではできないような体験を行うことができた。	13点					

4. 採点表										
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	屋内・トイレの清掃:毎日 ガラス・備品の清掃:月1～3回 照明器具の清掃:随時 館庭の清掃:週2～3回等の定期清掃、日常清掃を実施。 駐車場、児童館周辺、公園等も、定期的に清掃している。	適正 (普通) 2点	仕様書に定める回数が適正に実施されている。		10点
			②保守・点検			電気工作物・運動器具・保守点検:委託により実施	適正 (普通) 2点	法定点検・日常点検ともに、適正に実施されている。		
			③保安・警備			非常通報装置・消防用設備:委託により実施	適正 (普通) 2点	適正に実施されている。		
			④小規模修繕			・エアコン取り付け工事(91,800円)・AEDパッド交換(9,428円) ・床面ワックスがけ(15800円) ※10万円未満であったため、仕様書の定めにより、指定管理者の負担で修繕・修理を行った。	適正 (普通) 2点	修繕箇所が発生した場合は、遅滞なく対応されている。		
			⑤危険箇所の把握 (施設の瑕疵)			廊下床 遊戯室床 市へ報告済み。	適正 (普通) 2点	日常の業務の中で危険箇所を把握し、適正に対応されている。		
		(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点、 適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	文書目録を作成し、重要書類はすべて、鍵のついたスチール棚に保管。	適正 (普通) 2点	文書目録を作成し、それに基づき適正に管理されている。		10点
			②環境への配慮			・「節電・節水に努める」 利用者のいる部屋のみ照明をつける、使用していない電化製品のプラグは抜く、冷房の設定温度を28度に設定、プール遊びで残った水は打ち水にし暑さ対策にする、夏は高窓を開け風通しを良くする、冬は床にマットやじゅうたんを敷くなど、季節に合わせた環境設定でエネルギーの浪費を抑えている。 ・「廃材や消耗品の再利用」 コピー等は館内のものはできる限り裏紙を使う。期限切れのチラシは工作やのりの台紙等に活用。関係者機関への連絡はメールを利用。	適正 (普通) 2点	適正に実施されている。		
			③バリアフリー			玄関に手すりを設置しており、トイレは洋式化している。 廊下に障害物を置かない様に努めている。	適正 (普通) 2点	適正に実施されている。		
			④備品管理			備品台帳の原本は子ども支援課で保管。コピーを適正に管理している。年1回照合。	適正 (普通) 2点	適正に実施されている。		
			⑤個人情報保護			特定非営利活動法人ワーカーズコープとして『個人情報保護規定』を作成し、情報は施錠保管のうえ管理している。	適正 (普通) 2点	適正に実施されている。		
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする 事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、 事故等の対応に不備あり:△1点	事故なし。	事故なし・対応に不備なし 0点	適切な対応がなされている。		
	3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、 105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	10,757,350÷9,998,859=108%	105% 以上 5点	経営努力により経費削減を行った		5点

4. 採点表											
評価項目		細目		配点	採点基準			実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、 適正(普通):7～5点、 不備あり:4～1点	クラブ終了時や事業開催後などに、感想や意見を聞く場を設けた。乳幼児クラブでは季節の製作やクッキングの要望も多い為、保健センターのご協力も得ながらメニューを工夫している。乳幼児クラブに入る前の親子や妊婦さんが集える場がほしいとの声に、平成28年度よりプレベビーズサークルを行っている。		期待以上 9点	利用者の意見を聞く機会を設け、事業に反映させている。 祖父母に連れてこられる子の増加に対し、祖父母参加を意識した事業を行う等ニーズの把握→反映に努めている。		9点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	苦情なし。		苦情なし・適正(普通) 4点	ワーカーズコープとして、苦情解決第三者委員を設置している。		4点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント (15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	・地元の団体と共催で事業を開催したり、地元自治会の行事に、積極的に参加する事ができた。 ・隣接する坂上公園に行き来する児童への対応も行った。 ・施設管理に一番重要な人員確保の為に、常時勤務する以外の有資格臨時登録者を完備し、大きな事業や学校休業日・長期休暇中など来館者の多い場合や急な職員の欠勤に対応できるようにした。 ・NPO法人ワーカーズコープでは、『子ども・放課後等デイプロジェクト』を組織し、子育て・子育て・障がい児支援の大規模な研究交流を行っている。(29年度…5/14静岡県・12/3静岡県・2/18東京駒澤大学・2/25静岡県)また10/1「東海協同集会(名古屋市立大学)」・10/7～8「全国協同集会(龍谷大学)」・2/25～26「ワーカーズコープよい仕事集会(東京秋葉原)」においての子育て分科会のほか、年間全国規模の研究交流会を計10回開催。 ・下記の研修会に参加し、伝達研修を行った。 5/19健全育成専門セミナー(主催:児童健全育成推進財団)10/24～27児童厚生員等基礎研修会(主催:児童健全育成推進財団)9/26館長研修会(主催:岐阜県児童館連絡協議会)・10/5東濃ブロック児童厚生員研修会(主催:岐阜県児童館連絡協議会)・11/20東濃地区児童館職員等研修会(主催:岐阜県児童館連絡協議会) 5/26多治見市児童厚生員研修会(主催:多治見市社協)4/17ぎふ木育指導者研修(主催:岐阜県恵みの森づくり推進課)9/7地域子育て支援拠点研修(主催:厚労省)5/29普通救命救急講習(笠原消防署)		期待以上 14点	・地域行事へ職員の参加や、地域との積極的な連携を行っている。。 ・隣接する坂上公園の清掃、公園内での子どものケガなどにも配慮されていた。 ・移動児童館を行う際、手厚く児童を見守るため、常時2名のところを3名配置した点は評価できる。 ・全国組織である点を活かし、様々な研修に参加し、それを共有することで職員の資質向上に努める姿が見られた。		14点
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、 一部遅れ・不備あり(中程度):△2、 一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし。		遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。		
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等		0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、 対応等が期待以下(軽微):△1、 対応等が期待以下(中程度):△2、 対応等が期待以下(それ以下):△3	市からの指示等なし。		指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施されている。		
合計				100	【4段階評価】 極めて良好100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討44点以下						81点
									全体的な評価 ・概ね良好な管理がされている。 ・ニーズの把握に努める姿勢は評価できる。		良好